

平成 28(2016)年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」 成果報告会 —まちづくりNPO交流の集い—

平成 29 (2017) 年 9 月 9 日 (土) に大手町ファーストスクエアカンファレンス RoomB にて平成 28 (2016) 年度「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」成果報告会を開催しました。



開会挨拶 松本 昭氏 (財団専務理事 選考委員)

昨年度助成した 12 団体の貴重な活動の話をお聞きして、その後内容を深めていきたいと思います。今回は、子育て・若者、地域資源の活用、住まい活動・まちおこし活動の 3 つのテーマに分けて成果の報告をしていただきます。



第 1 部 各団体成果報告

テーマ 1 子育て・若者

1. 森のようちえん まめでっぼう (富山県富山市)

【活動テーマ】 棚田百選の三乗地区に活動拠点コミュニティハウスを

築 40 年の平屋の拠点「まめのま」の屋根の修繕を行いました。

【キーワード】 自然体験・自己肯定感・共同保育

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫 3 点】

- ① お客さんをお客さんにさせない
- ② 朝 5 時からのミーティング
- ③ 外部の知恵を借りる



発表者
市村 篤子さん

2. 産の森学舎 (福岡県糸島市)

【活動テーマ】 「さんのもり文庫」本を真ん中にした集いの場づくり

拠点の納屋に文庫を開くために、本箱づくり、蔵書の購入、ウッドデッキの製作を行いました。

【キーワード】 文庫を通じたつながり・多数決をしない等のフリースクール・多世代のつながり

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫 3 点】

- ① 無理をしない
- ② 地域の信用を裏切らない
- ③ 子どものふるさとのイメージ



発表者
大松 康さん

3. 西岬海辺の里づくり協議会 (千葉県館山市)

【活動テーマ】 茅葺き屋根のある暮らしのサイクルを再生する取り組み

休耕地の活用、茅場の再生、拠点古民家「ゴンジロウ」内の茶室でお茶会を行いました。

【キーワード】 古民家再利用・里山、自然環境のケア・地域のコミュニティケア

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫 3 点】

- ① 住民との個人的な付き合い
- ② 一年では完結しない活動
- ③ 無理をしない



発表者
加瀬 ひかりさん

4. 袋板屋☆若者が暮らしたい街をめざす会 (石川県金沢市)

【活動テーマ】 袋の町に眠る家、畑、山を多世代みんな呼び起こす

旧山道の再生、耕作放棄地を活用したイベント、若者移住に向けた調査を行いました。

【キーワード】 若者が暮らせる街・耕作放棄地・学生を含めた活動

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫 3 点】

- ① ウェブサイトの作成
- ② 協力者を増やす
- ③ 範囲を広げる



発表者
宮村 昭夫さん

質疑応答

「森のようちえん まめでっぼう」へ

Q 母親の負担が重そうに感じました。男性はどのようなことをされていますか？（選考委員／丁志映氏）

A 助成対象活動に関しては女性の出番が多かったですが、薪ストーブの薪集めや男の隠れ家WSなど、男性も活躍の場を持っています。（森のようちえん まめでっぼう／市村篤子さん）

「産の森学舎」へ

Q 小学生が卒業年度を迎えたらフリースクールはどうされるのですか？ また、子どもとまちづくりについてどのようにお考えですか？（一般参加者）

A 卒業を迎える子どもがいるので、現在中学部の設立を考えています。中高生になると思ったことを発信するようになり、それに対して大人が答えるなど、地域に新しい風を吹かせられるのではないかと思います。（産の森学舎／大松康さん）

「西岬海辺の里づくり協議会」へ

Q 学生が交代（卒業）しながら活動を継続していくコツを教えてください。（選考委員／丁志映氏）

Q 大学側から仕掛けても自主的な地域コミュニティは育ちますか？（前選考委員／久田見卓氏）

A 地元の高齢者にとって学生は地元へ活力を与える孫のような存在で、どのように育てていくかに関心をお持ちのようです。また、過去に活動した学生の中で、地元で設計事務所を開いた人がいます。学生側からそのようなキーパーソンを出すことが、地域コミュニティの醸成に望ましいのではないのでしょうか。（西岬海辺の里づくり協議会／加瀬ひかりさん）

「西岬海辺の里づくり協議会」と「袋板屋☆若者が暮らしたい街をめざす会」へ

Q 活動に関与している学生は近隣の大学の学生ですか。それとも遠方の学生ですか？どのように募集したのですか？（一般参加者）

A 基本的に千葉大と東大の岡部研究室のメンバーです。（西岬海辺の里づくり協議会／加瀬ひかりさん）
A 研究に関与している先生のFacebookでの周知で、イベントにはかなりの集客がありました。（袋板屋☆若者が暮らしたい街をめざす会／宮村昭夫さん）

テーマ2 地域資源の活用

5. 江差いにしえ資源研究会（北海道江差町）

【活動テーマ】職人のまち再生～職人交流によるゲストハウス改修

空き店舗を職人のゲストハウスに改修するために、学生と協働して動く寝台家具を製作しました。

【キーワード】蔵の活用・移動式和室・職人の棲家

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

①身の丈に合った活動 ②広く内外の意見 ③街の人が外に出る、学ぶ



発表者
室谷元男さん

6. 地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会（広島県庄原市）

【活動テーマ】文化財建物を拠点として地域コミュニティの再生

文化財建物（地元企業の社員住宅）や地域について学び、活用イベントや修復作業を行いました。

【キーワード】登録有形文化財・市民参加型修復・サポーターによる支援

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

①サポーターにリピーターになってもらう ②地域に開いた活動 ③ものづくりとビジネス



発表者
榎原節男さん

7. 絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト（高知県香南市）

【活動テーマ】「赤れんが商家」がつなぐ交流・文化発信拠点

「赤れんが商家」での演劇公演、改修作業、管理運営組織設立のためのWSを行いました。

【キーワード】 地域にあるものの活用・伝統文化の継承・地域のイベントに合わせたイベント実施

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① 無理をしないがメリハリつける
- ② 同じことをしない
- ③ 閉じない、内輪で終わらせない



発表者
武政正樹さん

8.NPO 法人八女空き家再生スイッチ（福岡県八女市）

【活動テーマ】 まちと人、人と人がつながる旧八女郡役所 2018 計画

「旧八女郡役所」の改修作業、地元産杉の見学会、外構整備へ向けた勉強会、オープニングイベントを行いました。

【キーワード】 伝建地区・若い人が出店・地元の杉材活用・自分たちがスキルを習得

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① 地元の人たちとの連絡
- ② 自分たちが楽しむ
- ③ ウェブ等による発信



発表者
高橋康太郎さん

質疑応答

4 団体へ



Q 建物をなおした後の展望について、地域の人の愛着につながるかわりをもたせる仕掛けについてどのようにお考えですか。
(選考委員 山下 馨氏)



Q 地域内で偏らず、外のグループとの連携、お互いにサポートしあう関係を築き上げたきっかけを教えてください。
(前選考委員 久田見卓氏)

A 北前船で職人が渡ってきて職人のまちができたという史実を継承して、職人がじっくりと関わることのできるゲストハウスにしたいと思います。
(江差いにしえ資源研究会／室谷元男さん)



行政の関わりがないと根本的な改修ができない大きな物件ですが、これまでの活動者は外部の人が多く、行政から地元の人の関わり具合を問われていました。ようやく地元住民が主体となった会が設立されたので、外来者である自分たちは彼らをサポートする立場に移行しつつあります。
(絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト／武政正樹さん)



建物の散策グループから掃除イベントをしたらというアイデアをいただき Facebook 等で発信したところ、地域内外から 70 人ほどの参加を得ました。掃除イベントに来た人がさらに人を呼ぶという相乗効果も生まれました。
(地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会／榎原節男さん)



大きな物件なので、これまでは建物を修理することに専心していました。外構づくりで地元の高専の学生、そのご両親へと活動の輪が広がっています。
(八女空き家再生スイッチ／高橋康太郎さん)



「八女空き家再生スイッチ」へ



Q 建物がNPOに寄付された際にみなし譲渡所得課税の問題はありませんでしたか？（一般参加者）

A 公益的に使用されるならば課税されないとのことでしたが、結局課税されることになり、土地を一度市に返したという経緯があります。
(八女空き家再生スイッチ／高橋康太郎さん)



「地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会」へ

Q メディアに報道してもらうための工夫をしていらっしゃいますか？
(一般参加者)

A 建物の大掃除を行うことを地元新聞社にアプローチして取り上げてもらいました。その後、広島たてものがたりというプロジェクトで、専門家と一般市民が選ぶベスト30の建物にダブル受賞したことから、マスコミが来るようになりました。
(地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会／榎原節男さん)



4団体へ

今後の建物の活用資金の調達方法について計画がおりますか。(一般参加者)

A 私たちグループは郡役所にだけ関わっているのではなく、先輩たちはお金を出し合って空き家を改修し、建物の家賃収入を得てなんとか回っています。現在10棟以上修理をしています。
(八女空き家再生スイッチ／高橋康太郎さん)



大阪の高校生が民泊で来訪しました。地元の観光協会が、建物の修復学習体験を観光として捉えたのです。今後の新しい潮流になると思います。
(地域資源を活かしまちを創造する職能集団の会／榎原節男さん)



テーマ3 住まい活動・まちおこし活動

9. 認定NPO法人茨城NPOセンター commons (茨城県常総市)

【活動テーマ】空き家を福祉長屋に変え、被災したまちを復興させる

被災地の復興で元診療所と母屋の清掃や改修を行いました。土地購入を希望する企業が出現しました。

【キーワード】グループハウス・元診療所の改修・まちづくり会社の設立

【NPO活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① 視察を受け入れ外部の目で賛同を得る
- ② メディアとの連携で情報発信
- ③ 資金確保のため公的サービスに取り組む



発表者
落合 幸さん

10. 荻窪家族プロジェクト (東京都杉並区)

【活動テーマ】地域開放型共同住宅を拠点に住民にも地域にも百人力を

地域開放型賃貸住宅で多彩な講座を開催し、サロンの運営を担う「番頭さん」が住民から生まれました。

【キーワード】知恵や時間を多世代と受け渡す・地域を基盤としたコミュニティ
番頭さんが活動

【NPO活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① 心地よさを出す
- ② 会話を通じて得意を発見、それを実現
- ③ 身の丈に合ったことに取り組む



発表者
瑠璃川 正子さん 関屋 利治さん

11. 箱の浦自治会まちづくり協議会 (大阪府阪南市)

【活動テーマ】箱の浦のことは箱の浦で解決を、住んでよかった箱の浦に

助成金をシニアランチハウスの家賃補助、子どもサロンの備品購入に充て、活動の充実を図りました。

【キーワード】自主財源・移動販売車・子供が育つ環境づくり

【NPO活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① 財源の確立
- ② 後継者の育成・ボランティアも増員
- ③ 評議会の団結・情報共有



発表者
岡 保正さん

12. 竹所夢プラン (新潟県十日町市)

【活動テーマ】 竹所の景観統一の一環として外部に開かれた牛小屋再生

集落の入り口に位置する牛舎を他物件のデザインと揃えて改修し、牛を外に出す空間を確保しました。

【キーワード】 限界集落からの脱却・動物と触れ合う場

【NPO 活動・市民活動を継続させるための創意工夫3点】

- ① メンバーがなるべく参加して楽しくやる
- ② インターン生が帰った後も声をかける
- ③ 作って終わりではなく継続できるように



発表者
小野塚良康さん

質疑応答

「茨城NPOセンター・ commons」へ

Q 当初予定していた物件が使用できなくなるというピンチに陥っても、くじけず前進した源泉にはどのようなことがありましたか？
(選考委員／松本 昭氏)

A 平時と災害時では不動産取得の意味合いが違うと思います。家は直ったけれど心は戻らないという住民の思いをよく耳にしました。そのような思いに今後も寄り添っていきたいです。ハードがあってこそそのソフトに取り組んでいきます。
(茨城NPOセンター・ commons／落合幸さん)

「茨城NPOセンター・ commons」へ

Q どのような視点で視察に来る人が多いですか？ (一般参加者)

A 被災地において被災したNPOがどのように復旧、復興していったのか、自主防災をどのように行っているのかについて、自治体の社協や地域の自治会の方が興味を持ってお見えになります。
(茨城NPOセンター・ commons／落合幸さん)

「荻窪家族プロジェクト」へ

Q 集合住宅内に地域に開放されるスペースが設けられて地元で活用されるようなムーブメントを、他地域でも普及させていくためにどのようにしたらいいとお考えですか？
(顧問／高見澤邦郎氏)

A 一軒家でも六畳間を一ヶ月に一度解放すれば、毎日どこかがあいていて人々が集うことができると思います。アパートを持っている人が空いている一部屋を地域に提供するなど、不動産を持っている人が社会全体が高齢化している現状を捉えていくようになればと考えます。
(荻窪家族プロジェクト／瑠璃川正子さん)

「箱の浦自治会まちづくり協議会」へ

Q 団地全体の地域創生を事業性をも考慮して、多様な事業で回しているという経営戦力についてお尋ねしたいです。
(選考委員／松本 昭氏)

A 正直いってしんどいです。現在活用している空き家の家賃、35万円のうち12万円が固定資産税なので免除してほしいと市に申し出ましたが退けられました。ですが、段々と市の態度が変わってきて、最近では職員の研修などに呼ばれるようになってきました。
(箱の浦自治会まちづくり協議会／岡保正さん)

「箱の浦自治会まちづくり協議会」へ

Q 既往の地縁団体やコミュニティ団体 (自治会、介護NPO等) との関係はどのようなものですか？ (一般参加者)

A 年に一度の祭りは協働でやる等、自治会と私たちまちづくり協議会は表裏一体です。民生委員はまちづくり協議会のメンバーですし、地域の包括支援センターとの連携もあります。市の介護保険課とは意見交換を行うなど、様々な形で連携しています。
(箱の浦自治会まちづくり協議会／岡保正さん)

「竹所夢プラン」へ



Q 活動の明確なメッセージや移住者の増加の機運はどのように育まれてきたのですか？
(前選考委員長／鈴木輝隆氏)

A 集落が過疎化にあえぎ、存続の危機に瀕する限界の限界までいったことで、地域住民が外へ発信するようになり、外部の人と積極的に接するようになりました。
(竹所夢プラン／小野塚良康さん)



第2部 全体意見交換会

学識者のコメント



助成の選考の際には、とてもいい成果を出せそうな申込、少々無理だと思われるが面白そうな申込があり、その両方がバランスよく対象になっていると感じました。財団としては、結果は不確定でも魅力的な活動にも目を向ける必要があります。財団の助成金を誘い水にして、総額でどの程度の金額が使えたのか気になる取り組みもありました。 **評議員／山岡義典氏**

地域の金融機関、商店街、企業等様々な人を巻き込んでいく力が必要で、わかりあえる人たちだけでまとまっていたら、次のステップにいかないのではないのでしょうか。共同出資や共同労働という観点にも目を向け、誰が責任を持って活動するのか、その面白さを知り、次に社会を引っ張っていくエネルギーがほしいです。

評議員／澤登信子氏



県立大学や高専は、地域に役立つ人材を育てるという重要な役割を持っています。学生との連携をお考えのNPOの方は、県立大学や高専にアプローチをされるのがよいと思います。 **評議員／小林郁雄氏**

中高生を巻き込んだプログラムでは、将来何をしていくかと考えている若者が地域の実態の中に入り込みながら自分の暮らすまちの歴史文化を認識していくことにつながり、人を育む視点を持つという意味でもすばらしい活動だと感じました。

理事／安藤雄太氏



かつて財団の助成を受け活動を行った際に、小中学生を巻き込んだWSを行いました。その後、そのときの中学生で建築の仕事についた人が現れました。生涯にわたる影響力を与えたという点で誇らしくもあり、少々恐ろしくも感じました。 **理事／梶島邦江氏**

小さな助成金が廃止されたりする中で、財団の助成がきっかけで自治体が活動を理解して大きなお金を回してくれるということは今後なかなか期待できないので、私たち自身が新しい行政をつくるという意気込みで活動する必要があるのではないかと感じました。 **顧問／高見澤邦郎氏**



活動報告・意見交換会の後は懇親会を行いました。

